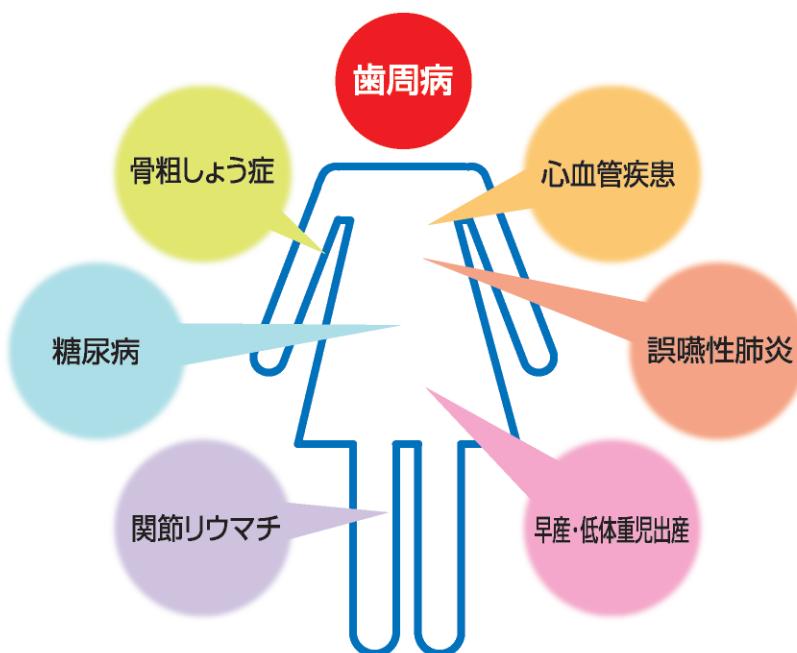


歯周病と全身疾患の関係



「お口の病気はお口の中だけのもの」と考えていませんか?

歯周病は、進行し重度になると、歯周病菌や歯周病菌が作り出す毒素、炎症によって作られる物質などが血液に流れ込み、様々な全身疾患と関係することが分かつてきました。

全身の健康のためにも
歯周病予防を!!



動脈硬化をおこした血管から、歯周病菌が見つかった!



アテロームから
歯周病菌が検出

コレステロールなどが
とりこまれて作られる
アテローム
(おかゆ状の沈着物)

動脈硬化をおこした血管

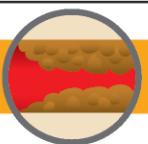
歯周病が進行すると

歯周ポケットから歯周病菌が血液中に侵入

動脈硬化を起こしている血管に歯周病菌が感染

歯周病菌や歯周病菌が産生する内毒素、
炎症性物質(サイトカイン)が血管壁に炎症を起こし、
血管を狭める作用を促進

動脈硬化が進行



糖尿病の人は
歯周病になりやすい

相互関係

歯周病は
糖尿病を悪化させる

糖尿病の人は免疫力が低下して、歯ぐきの炎症がおこりやすくなるため、糖尿病が歯周病をおこしやすく悪化させるといわれています。また歯周病がひどくなると、炎症によって出てくる物質(TNF- α)によりインスリンの血糖値をコントロールする働きを妨げて、糖尿病を悪化させるといわれています。

歯周病の治療をすることで
糖尿病のコントロール状態
が改善した報告があります

歯周病治療

インスリンの
働きがよくなる

血糖コントロール:HbA1c
(ヘモグロビン・エーワンシー)
の数値が改善